

### 複雑な字を一回で覚える

この子については、もっと驚かされたことがあるのです。一年の二学期の終わりに、国語の教科書に、「大掃除」ということばが出てきました。ちょうど12月のくれですから、このことばが、よく使われたわけです。「除」は、当用漢字音訓表にありませんので、「掃除」という使い方は、いまでは、小学校ではもちろん、中学でも学ばないのですが、社会的にはよく使われている字だとわたしは考えましたので、「大掃除」という漢字で、このことばを教えたのです。

このとき、「掃」の「帚」は「箒<sup>ほうき</sup>」で、だから、「掃」は箒を手にする、つまり、「はく」ことだと教えたのです。これは、「掃」という字を印象づけるために教えたのであって、もちろん、「箒」は当用漢字表にない字ですので、一年生に覚えてもらうつもりはまったくありませんでした。

ところが、三学期が始まったある日、ふと思いついて、わたしは、この「箒」という字を、黒板に書いて、

「この字の読める人」

と尋ねてみました。もちろん、ひとりも読めなくたってふしぎはない、というつもりでした。

ところが、多くの子どもたちにまじって、あの子が元気よく手を上げているではありませんか。わたしは、「おやっ」と思って、すぐその子をさしました。すると立って、元気よく、

「ホウキ」

と答えたのです。